

# きりしま支部 第23回定時総会 議案

## 第1号議案 2021年度（第22期）の活動を 振り返って

### はじめに

2021年度(第22期)のきりしま支部は、「経営者である以上、いかに環境が厳しくとも、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させる責任がある」という思いをもって、小グループ活動、例会活動を展開してきました。新型コロナウイルス感染拡大で、緊急事態宣言やまん延防止重点措置が続く中、オンラインやハイブリット方式で例会を開催し、小グループ活動もできる限り行い、歩みを止めないように活動してきました。

「ウイズコロナ」の生活様式が模索される中で、自社の存在意義を考え、仕事の原点は何なのかを問い続け、「地域のインフラ」を担う企業家として、進むべき道を再考した1年になりました。

### 1. 小グループ活動で、一人にしない活動の展開

6月から始まった新編成での小グループ活動は、幹事を中心に声を掛け合い、全グループを合わせると支部会員の6割が交流を深めることができました。6月は全グループが一度の交流を図れたものの、その後、新型コロナウイルスの感染の拡大等もあり、開催することができませんでした。小グループの活動では、お互いの経営を語り合い、心配事も相談できるような関係づくりを目指していますが、現実的には行事の出欠確認などが主になっており、本来の目指すべき活動となっていないことが課題です。

来期は、行事の出欠返事は会員自らが行うことで、幹事が小グループ活動の交流や関係づくりに注力できるようにしていくことが必要だと考えます。

### 2. 例会を6回ハイブリット形式で開催しました。

今期は、「逆風に打ち克つ」経営を主テーマに、企業の価値を考え、今の時代だから、コロナ禍だからと諦めずに進出し続ける経営体験を報告してもらいました。

6回の例会はそれぞれの部会が担当し、内容を深め、つくり込みを行ってきました。昨年度コロナ禍の中で落ちた会員の参加率は、32.5%から33.8%へとわずかではありますが、増加しました。ゲスト参加は39名となり、14名の入会に繋がりました。Zoom開催の例会では、当日の無断欠席が増えています。9月例会では、グループ長が事前に同じグループ

の人へ声掛けをすることで、当日参加率が上がるという取り組みもありました。部会で例会を担当することで、新しい会員や同友会から足が遠のいていた会員をも巻き込んだ例会づくりが行われ、会員一人ひとりの関わり方が変化してきています。

新たに座長や室長、グループ長の役割を担う人が増えることで、例会づくりの力が高まっています。回を重ねるごとにオンライン活動ができる経営者が増え、その割合は、87%となりました。「ウイズコロナ」の時代は、Zoomなどオンラインを使える経営者になることは必須です。来年度はオンライン活用できる会員が100%になるようにしていかなければならないと考えます。

### 3. 「人を生かす経営」の実践のための部会活動

今期は、3つの部会が例会づくりを通じ、経営指針・共育ち・価値創造のテーマを深めていきました。それぞれのテーマの例会づくりの中で、「人が育つとはどういうことか」「ぶれない経営のための経営指針づくり」「地域の中でのわが社の存在意義」など、例会づくりを通じて、課題意識が高まっています。

経営指針や共育ちに関心を持つ会員が増えてきていることから、来期は、部会活動でテーマを掘り下げた学習の場をつくっていくことが必要だと思います。

### 4. 地域とともにある中小企業

#### (1) 三者協定会議に基づく活動

都城市・都城商工会議所・同友会の三者協定における活動では、創業塾、夢見る課外授業に取り組みました。

創業塾は、今期はリアルで開催されました。16名の受講生達が6回の連続講座で学び、支部会員13名がこの講座に参加し、サポートしました。サポーターを務めた会員からは、「起業を目指して受講している姿に、私自身初心に戻り、奮い立つことができました」という感想がだされています。

夢見る課外授業は、高校1校、中学校2校に支部会員16名が講師として登壇し、自社の地域との関わり方ややりがい、生きがい、都城の魅力などについて発信しました。

#### (2) 都城西高等学校との連携

都城西高校の探求授業に、メンターとして支部会員28名が6月から3月までの10ヵ月間、関わりました。活動のテーマは「SDGs」。メンターとして事前にSDGsの学習会を行い、自社の課題とSDGsの17の目標を結び付けて、探究授業に臨みました。探究活動の中では、生徒が企業を訪ねたり、課題に関係ある施設と一緒に見学したりといった学校外での

活動も積極的に行なわれました。メンターになることで、自社の存在意義や課題について再確認できた経営者も多かったように思います。

都城西高校では、この探究授業のほかにも、都城商工会議所就職支援委員会と連携して出前授業を行いました。同友会からは19名が参加し、初めて講師を務めた会員からは、「自社や事業の魅力は何かを考える機会になった」「モチベーションが上がり、自社の展望を描くことができ、地域との関わり大切さを学ぶことができた」との声が聞かれました。

このように、地域の学校へ出かけ、自分たちがこの地域で何を担っているか、地域を形成する一員として何をしなければならないと考えているかを伝えることは、地域の若者に働くことの意義や地域の主体者になっていくことを共に考える大切な機会となっています。このような機会を地域全体に広げられるような取り組みが必要です。

## 5、同友会理念を实践する「地域のインフラ」を担う企業を地域に広げよう

### (1) 180名の仲間づくりの活動

きりしま支部は4市2町で構成されており、この地域には約3100社の会社があります。「よい会社」「よい経営者」「よい経営環境」をつくっていくためには、多くの学びあう仲間が必要です。今期は、組織率6%となる180名の支部をめざして、仲間づくりに取り組んできましたが、入会14名、退会15名と期首より1名会員を減らしてしまいました。

先の例会の振り返りでも記述したとおり、例会の参加者は増えてきています。地域の学校との取り組み等も充実してきました。会員が増える土壌ができてきていることは確かです。コロナ禍だからこそ、会員訪問やランチミーティング等の交流でお互いに励ましあえる関係づくりも必要です。強靱な企業を地域に増やしていくこと、180名会員の早期達成は、持続可能な地域づくりに大いに関わっていることを、支部内に広め、会員一人ひとりが主役である活動を展開していきます。

### (2) 小グループ活動と新会員オリエンテーションで連帯の力を

小グループ活動で互いの会社を訪問することは、コロナ禍の中、なかなか実現できませんでした。しかしながら、例会づくりでは、ミニ報告会などを通じて、お互いの経営への思いなどの理解を深めることができました。

新会員オリエンテーションは、8月と12月に開催しました。8月はZoomを使ったオンラインでの開催になりましたが、新会員11名と役員9名で「私たちが目指す企業像」への理解とその企業へ向けてどう実践していくのかを交流し、さらには今だからこそその様々なツールの活用法を学びあう場になりました。

新しい取り組みとして、コロナレポートの使い方を学び、自社を振り返り、自社の展望も描けると、好評でした。

このコロナ・レポートを記入しての交流は、新会員オリエンテーションの場だけでなく、例会づくり、小グループ活動の中でもいかしていきたいものです。

12月は「同友会を知り合う会&望年会」を兼ねて新会員オリエンテーションを行いました。知り合う会では「私と同友会」のテーマで2名の方に報告いただき、グループ討論で同友会をどう活用し、どんな経営をしていくかを語り合いました。その後の望年会は、コロナの感染拡大防止のため、3つの会場に分散して行いました。「同友会の活動に積極的に取り組む」という決意も発表されるなど、久しぶりの顔を合わせた開催の成果がありました。

### (3) 切磋琢磨しあう幹事会へ

今期、幹事会は20名の幹事体制で支部活動を推進してきました。同友会活動と企業経営を不離一体のものとして、活動づくりの中でも自社での実践に結び付けるよう積極的に学んできました。しかしながら、幹事間に温度差も感じられ、まずは、役員が一体となり活動していくことが必要であると思います。幹事会で、互いの目指していることを語り合い、そのバックグラウンドを理解し、切磋琢磨できる関係を構築していくことが、支部活動へ反映されると認識して取り組んでいきましょう。

## 6、学びの視野を広げよう

今年度は、全国行事、県行事ともに、オンラインでの開催が増えてきました。オンラインでの開催は、移動時間を取られることがありませんので、参加がしやすくなっているにもかかわらず、きりしま支部からの参加は低迷しています。支部活動と同様、積極的に参加していきたいと思います。

第30回みやざき中小企業経営フォーラムには、きりしま支部から、会員・ゲスト合わせて159名が参加を登録し、県内外の経営者との学びを深めました。参加目標も達成し、きりしまの支部の底力を発揮でき、次回の都城市で行われる第31回フォーラムへ繋がる大きな力になりました。

## ＝ 2021年度（第22期）活動の記録 ＝

### 1. 支部会員数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月初会員数	155	155	155	157	156	156
入会数	0	0	6	1	0	1
退会数	0	0	4	2	0	5

  

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	152	154	152	153	153	151	
	2	0	1	0	0	3	14
	0	2	0	0	2	0	15

\* 功労会員1名を含め、3月末会員数155名

## 2. 例会の開催

### 第22回定時総会

5月14日(金) Zoom会議で 46名  
内訳：会員45名(29.0%) + 他支部1名

### 7月例会

7月21日(水) 未来創造ステーション+Zoom会議で 63名  
「企業の価値を見だし、逆風に打ち克とう！」  
(株)ハピネス 代表取締役 丸山将史氏  
(株)福島精肉店 専務取締役 福島光代氏  
内訳：支部53名(33.8%) + 他支部2名 + ゲスト8名

### 9月例会

9月15日(水) Zoom会議で 71名  
「昨日より今日、今日より明日～時代と共に変えていくマインドセット～」  
あおぞら整骨院 代表 岩津良氏  
内訳：支部59名(38.1%) + 他支部5名 + ゲスト2名 + 会員企業5名

### 10月例会

10月29日(金) 未来創造ステーション&Zoom会議で 50名  
「地域密着から地域発信へ！！～地域の隠れた強みを見つけ出し、それを活かして県外に打ち出す力！～」  
(株)松島屋 代表取締役 又木博文氏  
ろばた焼明石 2代目 こも口弘文氏  
内訳：支部41名(26.6%) + 他支部4名 + ゲスト5名

### 11月例会

11月22日(月) 未来創造ステーション&Zoom会議で 47名  
「時代の流れだからといってあきらめない！～右肩下がりガスの業界、減少し続ける顧客をいかに増やしていくか～」  
(有)ファミリーガス 専務取締役 森健太郎氏  
内訳：支部40名(26.0%) + 他支部4名 + ゲスト3名

### 1月例会

1月21日(金) Zoom会議で 55名  
「経営者は社員を輝かせるマネージャー！社員と向きあい、全員が生き活きと働ける会社へ！」  
(有)ほつらいふ不動産(株) 代表取締役 村田祐治氏  
内訳：会員55名(35.9%) + ゲスト15名 + 会員企業2名

### 3月例会

3月24日(木) 未来創造ステーション&Zoom会議で 92名  
「人も豚も幸せにして日本の食を支える～同友会で気づいた自社の存在意義～」  
(有)永峰養豚場 代表取締役 永峰 智浩 氏  
内訳：支部71名(46.1%) + 他支部17名 + ゲスト4名

## 3. 例会外の活動

### ■新会員オリエンテーション等■

#### 第1回新会員オリエンテーション

8月27日(金) Zoom会議で 20名(新会員11名+役員9名)  
「私たちのめざす企業像～何を学び、どう企業で実践していくのか～」

優企画(株) 代表取締役 高濱優子氏

「コロナレポートを使って強靱な企業をつくりあう」

(株)ハピネス 代表取締役 丸山将史氏

「きりしま支部の活動 今だからこそ、様々なツールを活用しよう」

(有)ファミリーガス 専務取締役 森健太郎氏

#### 同友会を知り合う会&望年会

12月14日(火) グランドパティオ都城・ろばた焼き明石  
都城焼肉党で 44名

「私と同友会」

(有)別府損害保険事務所 専務取締役 別府昭人氏

(株)トーコー 代表取締役 野口和宏氏

内訳：会員42名(27.6%) + ゲスト1名 + 会員企業1名

### ■都城市起業家支援三者会議・創業塾■

#### 創業塾

第1講 9月4日(土) 未来創造ステーションで 6名

「地域に応援される起業をしよう」

「企業理念」をもとう

ダブルハウス(株) 代表取締役 渡会真也氏

「私の創業奮戦記」

(株)ツクークロ 代表取締役 川崎智広氏

第5講 11月6日(土) 未来創造ステーションで

会員6名 + 事務局1名

「起業計画づくり」

第6講 11月20日(土) 未来創造ステーションで

会員4名 + 事務局1名

「事業計画プレゼンテーション」

### ■夢見る課外授業■

・泉ヶ丘高校定時制 8月30日(月) 講師6名 Zoom

・山田中学校 9月16日(木) 講師3名 + 同行者3名

講師陣 / (株)chezken

宮田健一氏

(株)福島精肉店

福島光代氏

IHU(株)

岩満高介氏

・庄内中学校 10月22日(金) 講師4名 + 同行者3名

講師陣 / 合同会社IWC

岩津良氏

(株)江口工務店

江口福一氏

乙房こども園

刀坂弘毅氏

(株)ライフ・テラス

川江真史氏

## ■都城西高校との連携■

### ●2年生との探究活動●

6月16日(水) 2023SDGsワークショップ 都城西高校  
ファシリテーター 宮崎同友会 事務局長 結城美佳氏

6月16日(水) 都城西高校メンター企業学習会 (23名)  
未来創造ステーションで  
「2030SDGsワークショップ」

ファシリテーター 宮崎同友会 事務局長 結城美佳氏  
6月23日(水) 第1回目 都城西高校で  
メンター企業として26名が出席  
探究テーマの検討、年間活動計画の確認

7月7日(水) 都城西高校探究活動 (1年生) 都城西高校で  
「2030SDGsワークショップ」

ファシリテーター 宮崎同友会 事務局長 結城美佳氏  
7月29日(水) 探究活動計画発表会 Zoom会議で  
メンター企業4社が参加

10月27日(水) 探究活動中間発表会 都城西高校で  
メンター企業27社が参加

3月14日(月) 探究活動・評価会 都城西高校で  
メンター企業24社が参加

### ●出前授業 都城商工会議所との連携事業として●

11月17日(水) 都城西高校出前授業で17名と2名(商工会議  
所委員会として)が講話 都城西高校で

## 4. 幹事会の記録

- 第1回 5月14日(金) Zoom会議で
- 第2回 6月3日(木) Zoom会議で  
出席：15名(75%) + 理事2名
- 第3回 7月2日(金) Zoom会議で  
出席：16名(76.2%)
- 第4回 8月5日(木) Zoom会議で  
出席：15名(75%) + 理事1名
- 第5回 9月2日(木) Zoom会議で  
出席：17名(85.0%) + 理事2名
- 第6回 10月7日(木) Zoom会議で  
出席：16名(80.0%) + 理事2名
- 第7回 11月4日(木) 未来創造ステーションで  
出席：15名(75.0%) + 理事1名
- 第8回 12月2日(木) 未来創造ステーション&Zoom会議で  
出席：14名(70.0%) + 理事1名(内Zoom3名)
- 第9回 1月6日(木) Zoom会議で  
出席：12名(65.0%) + 理事1名
- 第10回 2月3日(木) Zoom会議で  
出席：14名(70.0%) + 理事2名
- 第11回 3月3日(木) Zoom会議で  
出席：11名(55.0%) + 理事2名
- 第12回 4月5日(火) 未来創造ステーションで  
出席：12名(60.0%) + 理事1名 新幹事候補7名

## 第2号議案

# 2022年度(第23期)の活動の スタートに向けて

## はじめに

オミクロン株による新規感染者の爆発的拡大で幕明けした2022年は、ウイズコロナの手立てが十分でない中、ロシアのウクライナ侵攻がはじまりました。今後の世界情勢に及ぼす影響も不安視されています。日本国内においても「ウイズコロナ」へシフトする中で、今後は7割経済と言われる厳しい状況に対応するための中長期的な視点がますます重要になってきます。

原材料調達難や人材不足などの経営課題を抱える会員の声も聞こえてきており、自社の商品やサービスの付加価値を高める努力をすることはもちろん、地域に必要とされる存在であり続けるためにどのように地域と関わっていくかをこれまで以上に真剣に考える必要があります。

コロナ禍の2年間で、「人が育っている会社ほど危機に直面した時に強さを発揮する」ことを実感した私たちには、社員と理念を共有しながら人が育つ会社づくりを行い、新たな雇用創出で地域活性の一翼を担うことも求められています。

私たち中小企業家は、このような地域からの大きな期待と責任に応えながら地域と共に新たな未来をひらくために、同友会活動の基本である「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」という3つの目的に向かって活動しています。

今後ますます厳しくなっていく社会情勢に負けないために、今期きりしま支部では過去最多・過去最高の仲間と共に切磋琢磨しながら学びあい、実践し、その成果を交流しあいながら、全会員で強靱な自立型企業を目指しましょう。

## 1. 互いの経営体験の交流の場の充実

同友会の学びの本質である、「経営体験の交流」を中心に活動を展開させます。

### ①小グループ活動(チーム)の継続と活性化

今期も小グループ活動を「チーム」として継続して活動します。会員6~7名で構成されるチームが会員同士をつなぐ活動単位です。日常的に連絡を取り合い、互いの経営課題や経営指針などを共有し誰一人取り残さない活動として共に学び合います。

**具体的活動** チームメンバー全員の会社訪問

### ②部会活動の充実

「経営指針」「共育ち」「地域づくり」の3つの部会とし、県の委員会と連携して学びの場をつくります。

**具体的活動** 年に1回は部会テーマの学習会を開催します。

### ③例会

年6回支部例会を開催します。そのうち1回は西諸地域で開催します。各支部が2回ずつ担当することで、例会づくりを全会員が主人公となる場にします。

しっかりPDCAを回し、その過程も経営に生かしていきます。例会づくりの学びを各企業で実践し、成果を持ち寄ることで、不離一体のサイクルをつくりまします。

- 具体的活動** 全員参加型の支部例会を年6回開催
- 目標** 支部会員参加率40%、ゲスト参加年間60名
- ※各支部が年に2回例会づくりを担当、新たに活動を担うリーダーを増やしていきます。

## 2. 経営指針の成文化と実践の推進

経営理念、経営方針、経営計画の3つを盛り込んだ経営指針を成文化することは経営者の責任を果たす第一歩です。指針経営をする経営者を地域に増やすことは、元気な地域づくりに繋がります。経営指針部会が中心となって、指針経営を支部内に広げていきます。

- 具体的活動** 経営指針をつくる会（入門編）の開催
- 経営指針委員会の力を借りながら、1泊2日の「経営指針をつくる会」を開催します。（年1回）
- 実践交流の場となる経営指針部会を年に2回開催する。

## 3. 地域に若者を残す活動の推進—採用し、共に育つ企業づくり

共育支部会が中心となり、「新卒採用とは何をめざす活動か」「共に育つとはどういうことか」についての学習会を開催します。共に育つ会社づくりを実践し、持続可能な企業づくりを推進します。

- 具体的活動**
- 採用と共育を深める学習会の開催（年1回）
- 採用と共育について深め合う学習会を、共同求人、共育委員会との協力をいただき開催する

## 4. 産学官金および他団体との連携の強化

地域づくり部会が中心となり、三者協定会議の充実、景況調査に基づく情勢分析 に取り組み、「よい経営環境づくり」を推進します。

※三者協定とは、都城市、都城商工会議所、宮崎同友会の三者が「活力ある地域づくり」に取り組むために交わしている協定です。

- 具体的活動** 三者協定の充実
- 創業塾への積極的な関わり
- 夢見る課外授業への参加 ●地域の学校との連携
- 具体的活動** 政策委員会と共同しての活動
- 景況調査回答率50%以上、景況調査分析会議への出席
- 「インボイス制度」の勉強会の開催

## 5. 第31回みやざき中小企業経営フォーラム（in 都城）の成功と全国や県活動への参加で学びの視野を広げる

「第31回みやざき中小企業経営フォーラム」は、2022年秋に都城市で開催されます。県内の経営者が一堂に会するフォーラムが都城市で開催されるのは、4年ぶりです。学びを深める絶好のチャンス。フォーラムづくりに積極的に関わります。

ウイズコロナの時代、全国行事や各県行事ハイブリッド開催が増え、参加がしやすくなっています。全国にはたくさんの会員さんとの学びの場があります。積極的に参加し、経営環境の変化やトレンドをいち早くとらえる機会として活用して行きまします。違いの多いグループ討論を経験する事でインプット、アウトプットの能力が高まります。

### 具体的活動

第31回みやざき中小企業経営フォーラムの成功

- 支部会員の80%以上の参加で、フォーラムを支え、盛り上げます。
- 支部を越えての学びを、経営の実践に活かします。
- きりしま地域の全市町での会員組織率を高める機会とします。

### 具体的活動

全国行事、県行事への参加

- 役員は九州沖縄役員研修会へ7割以上は参加します。
- 幹事役員は全国行事に年に1回は参加します。
- 県の活動、他支部例会、青年部会への積極的に参加します。

## 6. 180名の仲間と切磋琢磨しあう支部へ

きりしま支部は、えびの市、小林市、高原町、都城市、三股町、曾於市の4市2町で構成されています。きりしま支部の現在の組織率（その地域の経営者全体に占める割合）は5.2%です。同友会会員の少ない地域へ会員を増やしていく事はその地域の元気な未来に繋がります。積極的にその地域へ出向き、同友会を拡げていく活動をしていきます。

### 具体的活動

空白地域をなくし、4市2町に同友会を広げる

- きりしま支部の組織率6%を目指します。
- 現在の組織率は 都城市6%、三股町7%です。えびの市は0%、小林市、高原町、曾於市においては、3%未満になっています。
- 同友会会員企業を4市2町に広げ、支部全体の組織率を6%にします。
- そのために、年に1回は西諸地域で例会を開催します。

## 7. 同友会運動の推進を支える体制を強固に

同友会で学び、実践を深め、それを語れる次のリーダーを増やしていきます。また、新しく同友会に入会された方が、早期に同友会での学びの本質を理解し、活動に参加できるようオリエンテーションや歓迎の場を充実させます。

役員（理事・幹事）は、同友会運動のリーダーです。お互いを学びあう姿勢をもち、支部活動の推進をしていきます。

### 具体的活動

- 新会員オリエンテーションを年3回開催します。
- 役員は、役員研修会への参加率90%を目指します。
- 活動の自主運営を推進します。

## 8. 5年後の宮崎同友会、きりしま支部のビジョンを描く

私たちは、どんなきりしま地域をつくっていくのか。持続可能な地域をつくるために必要なことは何かを語り合い、ビジョンを描きます。

### 具体的活動 「未来会議」の開催

- 第31回みやざき中小企業経営フォーラムは「産学官民連携を県全体に広げ活力ある地域をつくる」をテーマに開催します。
- フォーラム開催後に、きりしま支部の5年後を描く「未来会議」を開催します。

きりしま支部 各部会活動	
<p><b>経営指針部会</b></p> <p>支部での「経営指針をつくる会」※一泊二日程度の凝縮版</p> <p>指針経営の実践報告会</p> <p>指針経営をする経営者を増やす活動</p> <p>連携 県の経営指針委員会</p>	<p><b>共育ち部会</b></p> <p>新卒採用と共育についてのオリエンテーション</p> <p>地域に若者を残す活動</p> <p>共に育つ会社づくり実践報告会</p> <p>連携 県の共育ち委員会 共同求人委員会</p>
<p><b>地域づくり部会</b></p> <p>3社協定の取り組み</p> <p>●創業塾 ●夢見る課外授業</p> <p>景況調査の報告会</p> <p>●情勢を掴む活動 ●景況状況の集計、課題をつかむ活動</p> <p>インボイス勉強会</p> <p>連携 県の政策委員会・三者協定会議</p>	

## ■活動計画

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
全国			16-17日第25回女性経営者全国交流会（鳥根）	7-8日中同協第54回定時総会（沖縄）		15-16日第50回青年経営者全国交流会（兵庫）		
県	第31回定時総会（27日）	26-27日九州沖縄ブロック役員研修会	役員研修会（県）	役員研修会（県）				
支部	全体行事		11日第23回定時総会	新会員オリエンテーション	支部例会（経営指針）	支部例会（共育ち）	支部例会（地域づくり）	
	部会	経営指針	チーム顔合わせ会		経営指針勉強会	チーム訪問	チーム訪問	
		共育ち	チーム顔合わせ会			チーム訪問	就業規則見直し講座	
		地域づくり	チーム顔合わせ会		SDGs学習会（6/1）	チーム訪問	チーム訪問	
	3者協定活動	3者協定会議	3者協定会議	会議+夢見る課外授業	会議+夢見る課外授業	← 創業塾 →		
都城西高探究活動			第1回チーム編成	個別サポート	個別サポート	中間報告会		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
全国	20-21日人を生かす経営全国交流会（徳島）				17-18日全国経営研究集会（大分）	2-3日第53回中小企業問題全国研究集会（長野）		
県	第31回経営フォーラムin都城（10/25予定）			新春経営者交流会				
支部	全体行事		新会員オリエンテーション（&同友会を知り合う会）支部例会（経営指針）	支部例会（共育ち）		支部例会（地域づくり）	新会員オリエンテーション	
	部会	経営指針	チーム訪問		経営指針勉強会	チーム訪問	経営指針をつくる会（入門編）1泊2日	チーム訪問
		共育ち	チーム訪問			チーム訪問		チーム訪問
		地域づくり	チーム訪問			チーム訪問		インボイス勉強会
	3者協定活動	創業塾 →	会議（+夢見る課外授業）	会議（+夢見る課外授業）	創業塾フォロー活動	会議（+夢見る課外授業）		
都城西高探究活動	個別サポート	中間発表会	個別サポート	個別サポート	成果発表会			